

おはようございます。

私は、日本共産党県議団として、提案されました「6月補正予算関係」の新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策について質問させていただきます。

まず、補助事務員緊急雇用事業についてです。

本事業の目的は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、失業や休業、内定が取り消しになった人等の生活の安定を図るためとし、補助事務員の追加募集を行い、短期の就業機会を創出するとしています。先日、地方紙において、一部報道されたところではありますが、

改めて伺います。

- ① 本県における新型コロナウイルス関連の解雇や休業、内定取り消しの実態についてお示してください。
- ② 計上されている予算で、何人の補助事務員を採用する見込みかお示してください。
- ③ 「短期の就業機会」とありますが、新型コロナウイルス感染症の今後の第2波、第3波を考慮すれば、長期間の雇用が望ましいと考えます。

したがって、今回計上されている予算で、どのくらいの期間を考えておられるのかお示してください。

次に、学校における和牛肉、おさかな等消費緊急対策事業についてです。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための外出自粛等に伴い、消費が低迷し、生産者は大変厳しい経営を強いられている状況です。

このようなことから、本事業は、厳しい経営を強いられている畜産農家や養殖業者などへの救済につながるからこそ重要と考えます。

そこで伺います。

本事業の目的と期待される効果についてお示してください。

以上、質問を終わります。

<回答を受けた後>

それぞれ、ご答弁をいただきました。

先日、私は、鹿屋市川東で畜産業を営んでおられる、生産農家と肥育農家の方々にお会いし、現在の窮状について伺いました。生産および肥育、いずれの農家も「飼料などの経費が高くなっているのに、牛の価格が大幅に下落し、赤字覚悟で営んできた。そこに、今回の新型コロナの影響で人と物の流れがストップしたことが重なり、一段と深刻さが増してきた。

これまでも、畜産を辞めた農家が周りにも何件かあったが、自分も含めて、今後さらに辞める農家が増えることが心配だ」と語っておられました。

私は、この話を聞いて、「このままでは、鹿児島島の畜産業が崩壊してしまう」

との危機感を抱かずにはいられませんでした。

今回提案されている「和牛肉・おさかな消費緊急対策事業」に合わせて、
今後は県独自の財政支援も行っていただき、厳しい状況に置かれている末端
の農家を確実に救済していただくことを切にお願い申し上げまして、
私の質問を終わります。

ありがとうございました。